

60th Shimane Pavement Association

創立60周年記念誌
一般社団法人
島根県舗装協会

「豊かな県土しまね」みちづくり

目次
Contents

創立60周年記念誌の発刊にあたって

一般社団法人 島根県舗装協会 会長 今井 久師 2

祝辞

島根県知事 丸山 達也 4

島根県建設産業団体連合会 会長 中筋 豊通 5

寄稿

一般社団法人 島根県舗装協会 前会長 常松 則義 6

元理事 小村 洋司 7

前理事 藤岡 隆義 8

前運営・技術委員長 大筒 晃一 9

特集 創立60周年記念対談

「道づくり」は「まちづくり」～未来へつづく舗装のこれから～ 10

島根県知事 丸山 達也 × 島根県舗装協会 会長 今井 久師

協会60年のあゆみ 14

歴代役員 22

会員紹介 26

特集 創立60周年記念座談会

Part1 女性が、次世代の若者が、笑顔で働ける舗装業界へ! 36

Part2 舗装の世界はどう変わった?今と未来を見つめる世代間クロストーク 40

記念研修視察 44

記念祝賀会 46

受賞実績 48

編集後記 51

60th Shimane Pavement Association

「豊かな県土しまね」みちづくり

創立60周年記念誌の発刊にあたって

ご挨拶

一般社団法人島根県舗装協会が60周年を迎えるにあたり、この記念すべき節目に心よりの感謝の意を表します。皆様のご支援とご協力により、私たちの協会は60年の間に数々の成果を挙げ、地域社会の発展に貢献してまいりました。この喜びと感謝の気持ちを込めて、島根県舗装協会会長として、一言ご挨拶を申し上げます。

60年という年月の中で、先人達が残してくれた島根県舗装協会は地域の発展に欠かせない存在として成長しました。道路建設や舗装技術の向上において、皆様のご支援を頂きながら、常に前進してまいりました。私たちの活動の中心には、地域の安全と安心があり、これを追求することで皆様の生活の質を向上させることを目指してまいりました。

そしてこれからは維持修繕の技術の向上やDXの推進、これからの社会で活躍できる人材の育成と、これからも環境に負荷をかけない舗装の普及を促進してまいります。

私たちがこの節目を迎える前に起こった大きな出来事、令和6年1月に発生した能登半島地震は、地域に大きな衝撃を与えました。被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。この地震は私たちに、災害に対する備えと地域の結束の重要性を再認識させました。半島への道路が災害に強ければ損害を抑えることができたかもしれない、半島に高規格な道路が複数あればより迅速に救助が行えたかもしれない等、安全で安心な道路を守り続けることと、被害状況の確認や応急措置、ライフライン(水道や電力)の供給を支援するための道路の確保等。その教訓を生かし、より安全でより強靱な地域社会の実現に向けて一層の努力を惜しまず行ってまいります。

今回の60周年記念誌の発行は、私たちの歩みを振り返ると同時に、未来への展望を共有する貴重な機会です。私たちはこれからも地域社会の発展と皆様の幸福のために、未来への道なりに希望を抱きながら、全力で共に歩んでまいります。今後とも皆様の一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人 島根県舗装協会

会長 今井久師

創立60周年を祝して

一般社団法人島根県舗装協会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。島根県舗装協会は、創立以来長きにわたり、舗装に関する学術並びに技術の発展、技術者の地位向上に大きく貢献されており、これまでの役員や会員の皆様方の熱意と努力に対し、深く敬意を表する次第であります。

また、平素から県行政の推進に御理解、御協力を賜りますとともに、県民の安全・安心の確保や地域振興を支える社会資本の整備・維持管理、災害発生時の応急作業、積雪時の除雪対応など、多大なる御尽力を賜り、心より感謝申し上げます。

本県では、施策運営の総合的・基本的な指針である「島根創生計画」に掲げる「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」の実現に向け、道路や港湾、空港等の整備、治水対策や土砂災害対策等による災害に強い県土づくりなど、社会資本の整備・維持管理を進めています。

特に、本年3月に大田・仁摩間が開通した山陰道は、令和7年度までに県内の開通率が約85%まで上昇する予定であり、企業進出の増加や観光周遊エリアの拡大など、地域経済への大きな波及効果が期待されています。

また、高速道路と一体となり県土を支える骨格幹線道路を中心に、生活や産業の基盤となる道路の改良と、橋梁の耐震対策や危険な法面の対策などにより、道路ネットワークの強靱化を進めるとともに、安全で快適な通行の確保と長寿命化のため、舗装の修繕にも計画的に取り組んでいます。

舗装は、日々の暮らしや産業を支える上で欠くことのできない大切な役割を担っています。皆様方には、記念すべき創立60周年をさらなる飛躍へのステップとして、業界の健全な発展と品質の向上、技術の継承に引き続き御尽力いただくとともに、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、島根県舗装協会の、益々の御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

島根県知事

丸山達也



激動の60年、そして「4K産業」を目指して、今スタート!

一般社団法人島根県舗装協会が設立60周年を迎えられたこと、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

昭和30年代、島根県内の道路は国道、主要地方道の一部、及び市街地のみが舗装済みであり、県全体の舗装率は極めて低いものでした。

そのため、島根県では舗装率の向上を県政の重点施策に位置付けられるとともに、県内における施工体制の構築にも取り組まれました。県内建設企業に対し、道路舗装の施工能力と施工体制の確保を要請され、その結果、県内初の舗装協会が誕生し、昭和39年には7社による島根県舗装協会が設立されました。

この年、東海道新幹線の開通や東京オリンピックの開催など、日本中が大いに沸き立っていました。あれから60年、時代は昭和から平成へ。消費税の導入、バブル景気が崩壊しデフレ不況に突入。阪神淡路大震災や地下鉄サリン事件、平成23年には東日本大震災が発生。「令和」へ改元、2度目の東京オリンピック開催、そして新型コロナウイルスが世界中に蔓延。まさに激動の60年でした。

この間、島根県舗装協会は「技術と信用で地域社会へ奉仕」を理念とし、舗装技術の向上と事業経営の合理化を推進されてきました。さらに安全と安心を守るため、除雪作業や落石情報等通報制度(パトレポしまね)への全面協力、道路清掃ボランティア等に尽力されていること、改めて敬意と感謝を申し上げます。

一方、西日本建設業保証(株)の保証実績によれば、島根県の公共工事は令和4年で1,520億円であり、ピーク時の約37%まで落ち込んでいますが、県経済や雇用を支える基幹産業として、また危機管理産業として建設産業は生き残っていかなければなりません。持続可能な産業となるため、ICTやDXなどの最新技術を駆使し、建設現場等の効率化を進めながら、生産性向上を図っていく必要があります。

その上で、「給与・休暇・希望」に加えて「カッコいい」の4K産業、誇れる産業を目指して共に頑張っていきましょう。

結びに、島根県舗装協会のさらなる発展と会員の皆様のご多幸、ご繁栄をお祈り申し上げ、祝辞といたします。

島根県建設産業団体連合会 会長

中筋豊通



未来に向かってはばたく (一社)島根県舗装協会



(一社)島根県舗装協会 前会長
雲南建設株式会社

代表取締役会長 **常松則義**

当協会も本年4月をもちまして創立60周年を迎えることとなりました。

ひとえに関係各位のご指導とご鞭撻の賜物と深く感謝を申し上げる次第でございます。

昭和39年に初代会長故今岡嘉久三氏を始め今は亡き6名の先人の方達の大変な努力によりスタートいたしました。当時県内の道路舗装率は8%程度と極めて低率でほとんどが砂利道でありました。年々会員増になり、又、発注者の方々と色々試行錯誤を重ね、協会も発展して参りました。会員各社共、技術の研鑽、技術者の育成と不断の努力を重ねどうにか一人前の舗装業者として認められる状況になりました。

残念なことに、初代今岡会長が平成17年に他界され、私共会員は大きなショックを受けたのを最近の事と受け止めています。あまりにも偉大なる会長で

ありました。今でも会員一同感謝の気持ちでいっぱいであります。

平成17年、浅学菲才なわたくしが2代目の会長を引き受ける事になりました。会長職の多忙さは分かっているつもりでした。現実を受けて行動してみますと、大変な激務、会員相互の結束と言葉にできない苦労も多々あり、リーダーとしての無能力を感じた事も沢山ありました。会長を引き受け15年になり、体力的にも無理がきかない状況になり、やはり若い会長に就任して頂きたいと思い、令和2年に3代目会長として今井久師君にお願いし、それぞれ手順を踏んで快く引き受けて頂きました。

わたくしは相談役として微力ながら支える立場になりました。今後の業界は色々と問題山積であります。技術の革新、労働人口の減少、道路予算の確保等々、各方面で難題があります。

今井会長のバイタリティ発揮と、全役員、又会員の方々一丸となって今後10年、20年と先を見据えた新しく光り輝く舗装協会として発展する事を御祈念申し上げます。

創立60周年を記念して

この度、一般社団法人島根県舗装協会が創立60周年を迎えられましたことを心よりお祝い申し上げます。

長年に亘り当協会の運営と事業にご尽力された関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

この機会をお借りして元理事として思い出を話させて頂きたいと思います。当協会は私の父の会社を含む7社で設立されました。生前父から聞いた話ですが、元県知事さんが「今は未舗装の道路が多いので、大手の舗装会社しかやっていないが、地元企業が自力でやれる様になれば応援する」と話されたそうです。当時は大手の下請けをして、技術を教えてもらっている状況でした。そこで地元企業7社が協同組合を作り、まず舗装技術を7社でマスターしようということで協会の中に試験室を作り、役所の技術者の方と一緒に頑張って勉強会をして自力で舗装ができるようになったそうです。

フィニッシャーや道路ローラーも各社で買い、アスファルトプラントも設置し事業を拡大しましたが、大手会社と又地元企業同士で仕事の取り合いが生まれ、未舗装の道路が減少すると競争はさらに激化し、現在では舗装工事が少なくて困っている状態です。修繕する箇所があるので多くの予算をつけて頂きたいです。

一方で長年携わってきて、舗装事業は非常にやりがいのある仕事だと感じています。今舗装事業から離れていますが、SDGsや環境を重視した技術や我社ですでに事業化しているリサイクル材料の再利用の技術など、今後ますます新技術や新工法への取り組みが必要になると考えています。又事業従事者の高齢化、技能者の減少による人手不足の問題があり、国交省が推進しているICT化や働き方改革の取り組みを当協会でもさらに進めていく必要があると思います。

これからも新しい時代に向かって初心を忘れず、更に躍進されることを願ってやみません。益々のご発展と関係者の皆様のご健勝を心より祈念申し上げます。



(一社)島根県舗装協会 元理事
山陰建設工業株式会社 前代表取締役
山建プラント株式会社

代表取締役 小村 洋司

創立60周年を迎えて



(一社)鳥根県舗装協会 前理事
日発工業株式会社

前代表取締役社長 **藤岡隆義**

私が日発工業株式会社に入社した平成15年4月に、日発工業の会長で鳥根県舗装協会初代会長でもありました故今岡嘉久三会長から「鳥根県も他県並みに、技術的にも、地元企業で舗装が出来るようになってきた。また県行政からのアドバイスもあり、鳥根県下の有志7社により、昭和39年に鳥根県舗装協会を発足することになった。」と聞き覚えています。

その後、今岡嘉久三会長は平成17年5月に亡くられるまで41年間にわたり、鳥根県舗装協会会長として鳥根県舗装協会に多大な実績と貢献をなされてきました。

平成17年7月からは常松則義会長そして令和2年5月には今井久師会長へとバトンタッチされ、60周年を迎えることになったことは非常に感慨深いものがあります。

今後の鳥根県舗装協会の維持・発展を考えた時、国土交通省における舗装事業の確保について考えざるを得ません。

公共事業は、地元の人材と地元の資材で、良質な社会資本を構築し、地域の雇用を確保し、地域経済の発展に寄与することが、原理原則であると考えております。簡単に言えば「地産地消」が原理原則であると思います。

こうした観点に立った時、国土交通省の舗装事業についても、隣の鳥取県並のシェアで地元企業が受注出来ることが必須となってきます。ある意味では、現在、唯一取り残されたブルーオーシャン領域があります。

70周年、80周年さらに100周年に向けて、若い今井久師会長を先頭に大畑勉副会長、福代秀洋副会長のもとで協会員一致結束し、国土交通省の舗装事業の確保に向けて地道に、粘り強く取り組んでいかれますことを期待し、祈念しまして、このたびの60周年事業への寄稿とさせていただきます。

創立60周年に寄せて

この度、一般社団法人島根県舗装協会が創立60周年を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

近年ご承知の通り、島根県内を見ても自然災害の多発や少子高齢化による人手不足、また建設業者としても求められている課題が山積しています。具体的な課題として、相次ぐ自然災害を受け「地域の守り手」としての役割やそれに対する期待、また担い手3法改正への対応・長時間労働の是正・ICTによる生産性向上などがあります。

運営・技術委員長を任されていた当時の様々な課題の中で、我々舗装協会が担い、また逆に提案すべきものは何か、そして各会員企業が継続的に貢献できるものは何かを検討し実行に移す必要があると考えました。

まず取り組んだのは、地域への恩返しとしてのボランティア活動と担うべき地域防災・減災活動を継続的に行っていくことです。ボランティア活動においては、地域での困りごとに我々のノウハウや実行力を発揮できるものです。また、地域防災・減災活動においての除雪では特殊機械を保有する我々であるからこそ生活道路を守ることができ、そして地域の安全安心も担保できると思います。

次に取り組んだのは、舗装協会として近年激変する担い手3法にいち早く対応し、そして各会員企業が最新情報を基に事業活動へ活かせるようにすることです。その中から品確法の理念に基づき、発注者への技術提案や制度改革へも一緒になって検討・協議し改革を推し進めさせて頂くことができました。

その結果、少しずつですが舗装協会に対するイメージアップや活動成果が実ってきたと感じております。今後ともこのような活動を継続的に実行することが、県内において住み良い街・安心安全な道を提供できるものと考えます。

結びに、今後とも各会員企業がそれぞれの地域で活躍され、そして島根県舗装協会が益々発展されることを祈念いたします。



(一社)島根県舗装協会 前運営・技術委員長
まるなか建設株式会社

常務取締役 大筒晃一

SPECIAL TALK

記念対談

島根県知事
丸山 達也

(一社)島根県舗装協会会長
今井 久師

「道づくり」は「まちづくり」
未来へつづく舗装のこれから

丸山知事は令和5年に4年の任期を終えられ、2期目を迎えられました。今井会長も同年で島根県舗装協会の会長に就任して4年目。その4年間にはさまざまなことが県下に起こったかと思えます。道路事業に関わることを中心に、印象に残った出来事があれば教えてください。

知事 地元の国会議員の先生方に力強い支援をいただき、山陰道の新規事業化が進みました。“島根県の背骨”の整備の大きな前進です。令和6年の春には「大田・静間道路」「静間・仁摩道路」が開通しました。新型コロナウイルスの感染拡大や災害などさまざまな悪条件はありましたが、このプロジェクトを着実に進めていただいている点は非常にありがたいと思っています。

会長 この数年といえば、やはりコロナの感染症対策や災害対応で現場が非常に混沌としたことが浮かびます。そのような状況下でも、先ほど知事がおっしゃったように、山陰道はほぼ全線で事業化され、全線開通までの道筋が見えてきたのは嬉しい限りです。奇しくも舗装協会が60周年の節目を迎える中で、島根県を東西に結ぶ道路がいよいよ繋がる。「島根県の道は島根県の会社で守っていこう」という舗装協会のスローガンを踏まえても良いタイミングだったと考えています。

知事 近年、全国各地で毎年のように自然災害が発生しており、元日に発生した能登半島地震においても、道路ネット

ワークの重要性が改めて明らかになりました。災害時や緊急時の輸送路として役割を果たすことができるよう、重点的に整備する必要があると思っています。

山陰道をはじめ、中海・宍道湖圏域を結ぶ「8の字ルート」など主要道路の新設・整備は島根県に大きな変化をもたらすと考えられます。そのため目指していること、期待される未来について教えてください。

知事 県民の皆さん、特に県西部の皆さんは「松江が遠い」「県庁が遠い」と感じていらっしゃると思います。山陰道が開通することによって、交流や物流、観光誘客の可能性が広がります。生活の面でも、産業・事業の面でも非常に期待が強く、また効果の大きい事業です。

一方で、県西部の皆さんからすると、山陰道が県境部まで繋がればそれでいいというわけではない。高速道路の“ミッシングリンク”を解消し、益田の県境部、その先の山口県、そして九州まで繋げていく必要があります。そのためには山口県とも協力して整備を進めていかなければなりません。

また、県東部でも、境港出雲道路を含めた「8の字ルート」の整備については、鳥取県と協力して進めていかなければならない。綿密な隣県連携を続けながら、東西に長い島根県のバランスある発展を目指していきたいです。

そのためには国会、経済団体、県議会、市町村が一致



協力し、鳥根県の力を結集して進めていくということが大事だと考えております。

また、除排雪が必要な降雪時や災害時に出勤していただいているのは、舗装業を含む地域の建設業者の皆さんです。舗装業の皆様方のお力添えをいただきながら、道路整備と良好な利用環境の維持に力を入れていきたいと思っております。

会長 私どもも大きな期待を寄せられていることを実感しております。その思いに応えるため技術を磨き、企業体力を上げ、雇用をしっかりと守っていくよう尽力する所存です。そしてそれにより、人口減少に抗う体制の底上げも建設業でお手伝いしたいと考えております。

知事 よろしく願いいたします。

山陰道はインターチェンジが多いため乗り降りしやすく、県民の皆さんにとっては利用しやすい高速道路になっていると思います。

高速道路が完成すると、通過型になり地域に降りてもらえなくなることがデメリットとしてよく挙げられますが、山陰道沿線にはそれが出にくい素地があります。県外からの誘客をしていきやすい作りにもなっています。県西部の場合は山陽側に近いというメリットもありますので、そちらの方面からの誘客を進めつつ、地域で生活される県民の皆さんや事業者の皆さんの生産性向上にも大変期待をしております。県東部では安来道路の安来スマートインターチェンジが準備段階調査箇所となりました。このような新たに設置される結節点を活用し、高速道路の利便性をさらに活かせるよう取り組んでいきたいと思っております。

近年は過疎地域で病院がなくなるなど、地域での医療の確保が課題となっています。道路状況の改善は、医療にどのような変化をもたらすでしょうか？

知事 山陰道の出雲・多伎間の開通はもう1年先ですが、既に大田市立病院は出雲の鳥根大学医学部の医師からすると、引っ越しをしなくても赴任できるようになりつつあります。そういった意味で、“医大に近くなる”ということが医師の確保になると考えられます。

また、救命救急は時間が勝負。高速道路が繋がることで、その機能に“命の道路”という意味合いが高まります。県西部においても、益田赤十字病院、浜田医療センター、済生会江津総合病院などに少しでも早く辿り着いてもらうためにも交通ネットワークの整備が必要になります。

会長 先ほど言われたように、都市部の高速道路と比較して山陰道は各地域から乗り入れがしやすいです。3年後に安来～益田間がほぼ繋がる山陰道ですが、やはりインターチェンジにアプローチする道路をより細かく改良していくことが大切になりますね。

知事 はい、高速道路へのアクセス道路の整備も県の重要な仕事だと認識し進めているところです。

県の事業については、できるだけ県内事業者の皆さんで受けていただき、仕事が平準化するよう工夫をして取り組んでおります。

そのためには建設業の人手不足の解消も欠かせないと考えております。





会長 建設業全体としても、いわゆる“4週8休”を強く推進していくことが担い手を獲得する一つの柱になると認識しております。

工事現場には厳しい暑さ寒さが伴いますが、ICT活用などのDXを推進していくことによって“3K”からの脱却は可能と思われま。若い人たちが気持ちよく地域の道路を維持・メンテナンスし、地域の発展に寄与していける。そんな体制を構築することが、我々建設業の使命だと考えております。

道路整備に関して、地方創生の視点から知事が期待されることはありますか？

知事 例えば企業誘致は、高速道路が整備されているエリアを中心に進行します。材料の搬入、製品の出荷、従業員の方の通勤を考えると、道が悪いところでは可能性が低い。

農業においては、大きな市場に早く出荷できる環境がどうしても必要に。木材についても大きなトラックが通れないと切り出しができない。

産業というものは“道”を必要とします。道路整備は産業の振興に繋がり、そこで従事される方の生活に繋がる。なりわいを増やしていく、充実させていくためにやはり道が必要ですし、良好な利用環境でなければならぬ。環境の整備によって産業が振興し、仕事に従事される方の生活に繋がり、そしてそこで子育てをすることが可能に

なってくる。育ったお子さん方も進学などで県外へ出ても戻ってきてくれる。県外で生まれ育った方にも良いところだと思ってもらえる。そのようなUIターン推進を含めた地方創生の取り組みに道路は欠かせないインフラです。環境改善には大きな期待を寄せております。

地域創生に繋がる暮らしやすさのためには、新線の開通はもちろん、路面のメンテナンスなども必要だと考えられます。

知事 近年は雨の降り方が尋常ではありませんので、落石の対策をはじめとした防災、今ある道路の老朽化対策、長寿命化といったさまざまな道路事業を進めなければいけません。

会長 舗装協会としても「自分たちの作った道路は自分たちでしっかり守っていこう」というテーマのもと、県との協力を進めていきたいです。現在も各地域で道路の危険箇所を見つけ県に連絡する「パトレボしまね」に協力しています。道路を熟知している舗装業の視点で、損傷、老朽化、ズレなどをいち早く発見できます。長年各地域で行っている道路清掃活動などのボランティア活動の中でも、路面状況をチェックし報告しております。

知事 島根県でも道路パトロールを実施していますが、隅々まで回る余裕がないのが現状。事業者の皆さんの目でパトロール体制補充のご協力をいただいております。

会長 近年の異常気象で夏は猛暑が続き路面もかなり熱くなるので、路面が波打つように見える流動化現象など異常が発生しやすくなっています。異常を見つけたら迅速に対応するよう努めています。

知事 アスファルトの路面は熱で波打つんですか？

会長 はい、そうなんです。特に横断歩道の前など車が停まる箇所は多いです。舗装の主な原材料になるアスファルトの研究も進み、流動化などへの対策がされているものを使用しています。これからはカーボンニュートラルの時代に合わせ、製造・施工時に発生するCO2の抑制を目的とした、中温化合材、遮熱合材や遮音合材のような、ロングライフでメンテナンスのしやすい合材の活用が急務だと私は考えております。地域の方に安心安全な道路として使っていただかなければいけませんからね。

知事 状況に対応できる素材を積極的に導入していただきたいです。発注者側も提案を受けてより良い物を使っただけできるよう努力してまいります。

会長 県西部では萩・石見空港がいよいよ30周年となりました。

これからは雇用促進活動、企業誘致、観光誘致などが各行政や商工会議所で進んでくるのではないかと予想しています。人が来てくれれば道路がどんどん使われて傷みますので、より綿密に維持・メンテナンスをしていく方が必要です。ぜひ予算を確保していただき、西部の多様な道路整備を進めていただければと思っております。

知事 萩・石見空港は山口県側も含め東西に高速道路があれば利用客を増やせませすし、降りてもらった後にいろんな場所に行く時間を短縮できるようになります。早急に予算確保をし整備を進めるように政府にお願いし、早期実現を図っていきたく思っております。

これからの60年に向け、ビジョンを教えてください。

会長 昭和30年代に協会を立ち上げ、島根県各地域の建設会社が「自分たちの道路は自分たちで作ろうじゃないか」と舗装技術を磨き、人を育て、今に至ります。

「道を作ること」が目的ではなく、「地域の活性化に協力すること」を目的としてまいりました。

先だって、島根の各市町村の人口減少が2050年にはどのようになっているのかという予測が発表されました。びっくり

するような数字でしたが、道路を作っていくことで抗えるのではないかと我々は思っております。

これからは建設業、特に我々のような舗装業と県がしっかり手を組み、雇用を生み出し、人を育て、新たな定住者を呼び込み、経済と文化を促進し、「やっぱり島根県は良いところだ」と思ってもらえるようにする。それが次の時代に向けた大きな目標であると考えております。

知事 会長のおっしゃるように、道のあるところに産業・なりわいが生まれ、それを求めて人が集積していきます。これまで道路整備が遅れてきたことは大きなハンデでした。県民の皆さんには大変なご苦労をいただいておりますが、整備を進めることでその重荷を軽くしていきたい。観光誘致や物流の苦勞が徐々に軽くなればコストも下がっていく。これまでの遅れていた部分を早く取り戻し、他の地域と同じ競争環境に立ってもらおう。それにより島根の競争力に磨きをかけていけると思っております。

舗装業を含む建設業の皆さんには、人材を確保していただき、そして今井会長がおっしゃっていたような高機能素材などを活用し、よりより良い道路を造り残していただきたい。発注者である行政側・県側と建設業舗装業の皆さんが手を携え、共に取り組んでいければと思っております。引き続きよろしくお願いたします。

会長 よろしくお願いたします。舗装というのは建設作業のごく一部です。我々が起爆剤となり建設産業全体が雇用を伸ばし体質強化をし、ひいてはそれが島根県の底上げに繋がっていく仕組みを公共事業が多い地域だからこそやらなければならないと考えています。そういった意味では、県からの付託に我々がしっかり応える必要があります。島根の舗装協会が中国地方の中で業界をしっかりとリードしていくことを目指し、頑張っていきたいと思っております。

知事 実は最近知ったんですが、アスファルトは生ものなので遠くで作って運んでくるということができないそうですね。そのため各市町村できちんとプラントを構えていただかないと、地域の道路整備は立ち行かない。島根県は面積が広く山間地も離島もあります。そんな環境であっても協会の皆様は協力体制を構築し、県内の道路整備が滞りなく進むように取り組んでいただいております。先ほど申しましたように「道路なくしてなりわい・人はない」。県内各地域でくまなく道路整備に対応いただける舗装協会の運営には大変感謝をしております。どうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

島根県舗装協会60年のあゆみ【昭和38年～平成4年】

島根県舗装協会の出来事

昭和38年

県から県内主要建設業者に舗装事業受注体制樹立の要請

昭和39年

4月 「島根県舗装協会」設立
(7社)
日発舗装(株)(現 日発工業(株))
(株)中筋組(現 まるなか建設(株))
中国道路(株)
今井産業(株)
雲南舗装(株)(現 雲南建設(株))
山陰アスファルト工業(有)(現 山陰建設工業(株))
東和商事(株)(現 東幸建設(株))
事務所は日発舗装(株)内(松江市灘町1-43)

昭和45年

4月 「島根県舗装事業協同組合」設立

昭和47年

8月 現住所に事務所移転

昭和49年

3階増築(資料室)(島根県舗装事業協同組合)

昭和50年

大二舗装(株)(現 (株)ダイニ)、(株)福田組(現 ヒカワ工業(株)) 入会

昭和51年

9月 松江土建(株)、石成道路(株) 入会

昭和53年

6月 「島根県アスファルト合材協会」設立

昭和54年

昌和道路(株)、平井建設(株) 入会

昭和57年

6月 大軌建設(株) 入会
島根県知事への陳情
8月 道路整備促進緊急全国総決起大会へ参加
10月 第32回全国道路利用者会議全国大会へ出席
12月 道路整備促進全国総決起大会へ参加

昭和58年

3月 土木部・舗装協会合同舗装技術研究会(県10名、協会75名)
6月 島根県知事への陳情
11月 野球大会(大田市)

昭和59年

1月 道路整備促進全国総決起大会への参加
2月 ローラー講習会の開催(24名)
3月 農林水産部との舗装技術研修会の開催(県4名、協会40名)
4月 全国道路利用者会議総決起大会へ参加
6月 島根県知事へ陳情
7月 親睦野球大会(浜山球場)
建設省松江国道事務所長に陳情
9月 活路開拓調査のための視察出張(10名)
2,3階を住居仕様に改築(島根県舗装事業協同組合)
11月 「マンションゆまち」入居開始(島根県舗装事業協同組合)
12月 創立20周年記念式典・祝賀会(水明荘、80名余)



1963

昭和38年

1978

昭和53年

その他の出来事

昭和39年 ●東京オリンピック開催

昭和40年 ●名神高速道路全面開通

昭和41年 ●国道9号線全線整備
●県営出雲空港の開港

昭和42年 ●日本の人口1億人突破

昭和43年 ●隠岐空港の開港

昭和44年 ●東名高速道路全線開通

昭和45年 ●大阪万国博覧会

昭和47年 ●7月豪雨災害
●境水道大橋・宍道湖大橋の開通

昭和48年 ●第1次オイルショック

昭和50年 ●県中部に集中豪雨

昭和53年 ●第2次オイルショック

昭和56年 ●くにびき大橋の開通

昭和57年 ●くにびき国体の開催

昭和58年 ●「東京ディズニーランド」開園
●7月豪雨県西部に大被害
●中国縦貫自動車道が全線開通
●荒神谷遺跡で銅剣358本出土

昭和59年 ●日本初の衛星放送始まる
●日経平均株価が初めて1万円の大台を突破

昭和60年

- 2月 舗装技術研修会の開催(県、協会40名)
- 8月 島根県知事へ陳情
親睦野球大会(浜山球場)
- 9月 舗装技術講習会の開催
廃棄物の処理及び清掃に関する法律の研修会
- 10月~11月 活路開拓調査のための視察出張
- 12月 道路整備促進全国総決起大会へ参加

昭和61年

- 2月 舗装技術研修会の開催
- 8月 島根県知事へ陳情
- 9月 野球大会(浜山球場)

昭和62年

- 1月 先進地視察
- 3月 技術研修会の開催
- 4月 社団法人へ移行
- 7月 第10次道路整備五箇年計画拡大策定緊急総決起大会へ参加
- 8月 島根県知事へ陳情
- 9月 ソフトボール大会(斐伊川河川敷、武志球場)

昭和63年

- 3月 技術研修会の開催(30名)
- 10月 ソフトボール大会(斐伊川河川敷、武志球場)
- 12月 「島根県アスファルト合材販売協同組合」設立

平成元年

- 7月 島根県知事へ陳情
- 9月 運営委員会・舗装工事現場視察(山陽自動車道徳山バイパス)
- 10月 ソフトボール大会(斐伊川河川敷、神立球場)
運営委員会技術部会・舗装工事現場視察(中国横断自動車道・米子岡山線溝口現場)
- 12月 道路舗装技術講習会参加(主催:建設図書、70名)

平成2年

- 6月 技術研修会の開催
- 8月 島根県知事へ陳情
- 9月 運営委員会・舗装工事現場研修視察(山陽自動車道西条試験舗装)
- 12月 県関係部長へ陳情

平成3年

- 2月 「島根県アスファルト舗装技術開発事業協同組合」設立(販売協同組合を変更)
- 5月 土木部へ陳情
- 8月 島根県知事へ陳情
- 9月 運営委員会・舗装工事現場研修視察(鳥取北条バイパス、中国横断道)
- 10月 全国道路利用者会議へ参加
- 11月 運営委員会技術部会・舗装工事現場研修視察(奥出雲おろちループ)

平成4年

- 2月 アスファルトゼミナール(北海道)
- 6月 運営委員会技術研修会の開催(石見空港)
- 9月 島根県知事への陳情
- 10月 運営委員会・舗装工事現場研修視察(中国横断道広島浜田線、九州自動車道)
舗装技術講習会(44名)
全国道路利用者会議
- 12月 改正産業廃棄物処理法説明会の開催(合材協会と共催)

1985

昭和60年

昭和60年

- 男女雇用機会均等法成立
- 科学万博つくば'85
- 県西部、再び豪雨災害に見舞われる

昭和62年

- 国鉄が分割、民営化
- 国幹道法の予定路線に山陰自動車道と中国横断自動車道尾道松江線が追加決定

昭和63年

- 青函トンネル開業
- 本州四国連絡橋 瀬戸大橋開業
- 県西部で集中豪雨災害発生

平成元年

- 昭和天皇崩御、「平成」へ改元
- 消費税がスタート
- 横浜ベイブリッジ開通
- 中国横断自動車道広島浜田線の旭~浜田間が開通

1990

平成2年

平成2年

- 国際花と緑の博覧会(大阪)

平成3年

- 雲仙・普賢岳で火砕流発生
- 中国横断自動車道広島浜田線の全線開通

平成4年

- 県単21世紀道路予算が100億円を突破
- 出雲ドーム完成
- 奥出雲おろちループ開通

●国内の出来事
●島根県内の出来事

島根県舗装協会60年のあゆみ【平成5年～平成17年】

島根県舗装協会の出来事

平成5年

- 2月 島根県建設産業団体連合会設立総会(舗装協会長は理事に就任)
- 2月～3月 舗装事情及びリサイクル施設の先進地視察(4班編成で北陸ほか)
- 6月 ソフトボール大会の開催(出雲ドーム)
- 8月 島根県トラック協会と行政及び荷主団体との懇談会
- 9月 全国道路利用者会議
今岡嘉久三会長の黄綬褒章受章祝賀会
島根県知事への陳情
- 10月 (株)谷本組、(有)山口建設(現 山口建設(株)) 入会
運営委員会・舗装工事現場研修視察(中国横断自動車道、山陽自動車道)
- 11月 運営委員会技術部会技術研修会(排水性舗装)の開催
道路整備促進全国大会

平成6年

- 3月 独禁法研修会(建振会と合同)
- 4月 島根県知事へ要望
- 8月 ソフトボール大会の開催(出雲ドーム)
- 9月 運営委員会・舗装工事現場研修視察(舞鶴自動車道外)
- 10月 創立30周年記念式典・祝賀会(ホテル一畑、113名)



- 11月 運営委員会技術部会・現地研修(大田市内)

平成7年

- 2月 先進地視察(沖縄)
- 9月 運営委員会・先進地研修視察(北陸道外)
- 10月 ソフトボール大会(出雲ドーム)
全国道路利用者会議全国大会
- 11月 運営委員会技術部会・現地研修(倉吉外)
- 12月 舗装講習会(46名)

平成8年

- 6月 ソフトボール大会(出雲ドーム)
- 8月 県庁関係部局へ要望
- 10月 道路利用者会議全国大会
- 11月 研修視察(松山、高知、高松)
- 12月 技術部会・舗装先例視察(安来市、広瀬町)

平成9年

- 6月 (株)あまね建設 入会
ソフトボール大会(出雲ドーム)
- 7月 本庁へ陳情
- 10月 ゴルフ大会
運営委員会・先進地視察(米子・岡山・高知道)
道路利用者会議全国大会
土木部長へ陳情
- 11月 舗装協会研修会
技術部会研修会

平成10年

- 1月 ボウリング大会
- 5月 (株)毛利組 入会
「島根県アスファルト舗装技術開発事業協同組合」解散
- 7月 土木部長陳情
- 9月 ソフトボール大会(出雲ドーム)
- 10月 視察(釜山、慶州、ソウル)



1993

平成5年

平成5年

- レインボーブリッジが開通
- 浜田道路、江津道路(一部)が開通
- 石見空港が開港

平成6年

- 国連地球環境子供サミット開催(於 松江市)

1995

平成7年

平成7年

- 阪神淡路大震災
- 地下鉄サリン事件が発生
- 全国健康福祉祭(ねんりんピック95しまね)開催

平成8年

- WTO 政府調達協定の発効
- 加茂岩倉遺跡で大量の銅鐸発見

平成9年

- 消費税5%に増税
- 東京湾海底トンネル「アクアライン」開通

平成10年

- 冬季長野五輪・パラリンピック開催
- 郵便番号が3桁から7桁に
- 明石海峡大橋開通
- 荒神谷遺跡の青銅器群が国宝に指定

その他の出来事

平成11年

- 1月 運営委員会ボウリング大会(松江センターボウル)
- 6月 舗装研修会
- 7月 ソフトボール大会(出雲ドーム)
- 9月 運営委員等視察旅行(済州島)
- 10月 技術部会事例研修会(花回廊)



- 11月 全国道路整備促進総決起大会出席

平成12年

- 1月 ボウリング大会(松江センターボウル)
- 8月 土木部長要望
- 9月 親睦ボウリング大会(出雲センターボウル)
- 10月 技術部会視察(浜田)
道路利用者会議全国大会
- 11月 道路整備促進大会

平成13年

- 1月 運営委員会ボウリング大会(松江センターボウル)
- 3月 調査研修旅行(韓国)
- 8月 土木部長陳情
- 10月 技術部会・視察研修(兵庫、京都)



運営委員会・研修視察(ソウル、仁川空港)
全国道路利用者会議全国大会

- 11月 道路整備の促進を求める全国大会

平成14年

- 2月 島根の高速道路を促進する県民総決起大会
- 10月 研修視察(ソウル)
ソフトボール大会(出雲ドーム)
道路利用者会議全国大会
道路整備促進全国大会
土木の日フェアに出展



- 11月 道路整備促進緊急全国大会

平成15年

- 7月 土木部要望活動
- 9月 運営委員会・研修視察(大阪)
- 10月 技術部会研修視察(邑智バイパス他)
道路利用者会議全国大会

平成16年

- 7月 土木部要望活動
- 8月 国土交通省・公団への要望活動
- 10月 技術部会研修講演会
創立40周年記念視察研修旅行(上海、蘇州)

平成17年

- 6月 今岡嘉久三会長合同葬
- 8月 土木部要望
- 10月 県庁陳情

1999

平成11年

平成11年

- 県立美術館の開館
- 三瓶小豆原埋没林発見

平成12年

- 中央省庁再編により国土交通省が発足
- 介護保険制度が始まる
- 2000円札発行
- BS デジタル放送開始
- 鳥取県西部地震

平成13年

- 「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」施行
- 「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」オープン
- 「東京ディズニーシー」オープン
- 山陰自動車道(安来～宍道間)が開通
- ソフトビジネスパーク島根オープン

2002

平成14年

平成14年

- 住民基本台帳ネットワーク稼働
- 「建設資材リサイクル法」施行

平成15年

- 尾道松江線三刀屋木次～宍道間及び江津道路の開通

平成16年

- 新潟県中越地震
- 市町村合併が進み、新市町が誕生

平成17年

- 「公共工事の品質確保の促進に関する法律」施行
- 愛知万国博覧会(愛・地球博)
- 日本道路公団民営化
- 2月22日を「竹島の日」と制定

● 国内の出来事
● 島根県内の出来事

島根県舗装協会60年のあゆみ【平成18年～平成26年】

島根県舗装協会の出来事

平成18年

- 4月 運営・技術委員会設立総会及び研修会
防犯ボランティア「こども110番車」出発式
- 5月 (株)谷本組 退会
- 7月 舗装協会ホームページ開設
- 8月 県庁要望活動
県本庁機関要望活動
- 10月 道路利用者会議全国大会・会員等視察旅行(福岡、ソウル)
- 11月 協栄道路(有) 入会
運営・技術委員会研修会

平成19年

- 2月 島根県犯罪のない安全で安心なまちづくり推進協議会設立総会
- 3月 ボランティア活動(一畑無人駅清掃)
- 5月 研修会(入札制度改正、総合評価方式、建設業法)
- 6月 研修会(総合評価方式、工事成績評定)



- 7月 本庁要望活動
- 11月 ボランティア活動(石見銀山道路周辺清掃)



道路整備の促進を求める全国大会

平成20年

- 5月 運営技術委員会研修会
- 6月 運営技術委員会研修会
- 10月 ボランティア活動(アグアス周辺清掃)
- 11月 県要望活動

平成21年

- 3月 土木部長要望
- 8月 運営委員会研修会
本庁要望活動
- 11月 ボランティア活動(養護学校出雲高松農場)



平成22年

- 2月 運営委員会現場研修会(情報化施工)
- 9月 研修会(総合評価、エコアス)



- 10月 本庁要望活動
- 11月 ボランティア活動(三瓶山公営駐車場清掃)

2006
平成18年

2008
平成20年

その他の出来事

- 平成18年**
- しまなみ海道が全線開通
 - 7月豪雨
 - 地上デジタル放送開始

- 平成19年**
- 古代出雲歴史博物館オープン
 - 石見銀山が世界文化遺産に登録される

- 平成20年**
- リーマンショック
 - 後期高齢者医療制度スタート
 - 出雲大社で「平成の大遷宮」始まる
 - 加茂岩倉遺跡出土銅鐸が国宝に指定

- 平成21年**
- 裁判員制度スタート
 - 山陰自動車道(宍道 JCT～出雲 IC)が開通

- 平成22年**
- 小惑星探査機「はやぶさ」が7年ぶりに帰還
 - 国道9号益田道路が開通
 - 「島根ササノオマジック」誕生

平成23年

- 8月 本庁要望活動
(株)あまね建設 退会
- 10月 ボランティア活動(石見海浜公園「置ヶ浦」清掃)
全国道路利用者会議 in 島根
研修会(しまねの道づくり、特殊舗装、情報化施工)

平成24年

- 4月 ボランティア活動(ふるさと森林公園清掃)



- 8月 本庁要望活動
- 10月 一般社団法人の認可申請
研修会(性能評価及び長期保証、BCP、道路行政をめぐる最近の動向)



平成25年

- 4月 一般社団法人へ移行
- 5月 ボランティア活動(ふるさと森林公園清掃)



- 8月 本庁要望活動
- 10月 研修会(再生可能エネルギー、竹島問題、災害時の教訓)
- 10月 「島根県警察官支援の会」に加入

平成26年

- 5月 島根県に寄付



ボランティア活動(石見海浜公園清掃)



創立50周年記念祝賀会

- 8月 本庁要望活動
- 10月 研修会(改正品確法、企業の人材強育論)

2011

平成23年

- 平成23年**
 - 東日本大震災
 - 地上アナログテレビ放送から地上デジタル放送に完全移行
 - 大雪により県東部を中心に大きな被害

- 平成24年**
 - 東京スカイツリー完成
 - 尖閣諸島国有化
 - 松江だんだん道路の部分開通
 - 尾原ダム完成

2013

平成25年

- 平成25年**
 - 2020年夏季五輪・パラリンピックの開催地が東京に決定
 - 「国土強靱化基本法」が成立
 - 出雲大社で60年に一度行われる「本殿遷座祭」が挙行
 - 隠岐ジオパークがユネスコ世界ジオパークに認定
 - 松江自動車道、松江だんだん道路が全線開通

- 平成26年**
 - 消費税が5%から8%に増税
 - 「担い手三法」改正
 - はやぶさ2打ち上げ成功
 - 山陰自動車道・湯里IC～石見福光IC間が開通
 - 隠岐航路の超高速船レインボージェット就航

●国内の出来事
●島根県内の出来事

島根県舗装協会60年のあゆみ【平成27年～令和6年】

島根県舗装協会の出来事

平成27年

5月 ボランティア活動(ふるさと森林公園清掃)



7月 研修会(道路に関する新たな取り組み、総合評価方式、その他)



本庁要望活動

11月 研修会(しまねの高速道路、道路の計画的維持管理)

平成28年

5月 ボランティア活動(国府海岸清掃)

7月 本庁要望活動

10月 研修会(しまねの道づくり、公共土木施設の老朽化対策、不安全行動防止)



11月 研修会(H29, 30入札資格審査項目)

平成29年

5月 ボランティア活動(ふるさと森林公園清掃)

7月 本庁要望活動

9月 ICT活用舗装工事研修会



11月 研修会(道路行政の最近の話題、土木部とオーナーの意見交換)

平成30年

5月 ボランティア活動(石見銀山周辺道路清掃)



8月 本庁要望活動

11月 ICT及びドローン活用舗装工事研修会



2015

平成27年

2017

平成29年

その他の出来事

- 平成27年**
- 首都高速・中央環状線が全線開通
 - 尾道松江線が全線開通、山陰自動車道の2区間が開通
 - 松江城の天守が国宝に指定
- 平成28年**
- 税や社会保障に関連した共通番号制度(マイナンバー)が運用開始
 - 北海道新幹線が開業
 - 熊本地震発生
 - 山陰自動車道浜田・三隅道路が全線開通

- 平成29年**
- 14歳棋士 藤井聡太四段が前人未達の29連勝
- 平成30年**
- 北海道胆振東部地震発生
 - 山陰自動車道「大田朝山 IC～大田中央・三瓶山 IC間」が開通
 - 県西部地震及び7月豪雨による災害
- 平成31年**
- 山陰自動車道「出雲多伎 IC～大田朝山 IC」が開通

令和元年

- 8月 本庁要望活動
- 9月 島根県知事との意見交換会
ICT活用舗装工事講習会
- 11月 ボランティア活動(国宝松江城マラソン関連道路清掃)

令和2年

- 8月 本庁要望活動
- 10月 週休2日工事及び ICT活用舗装工事講習会

令和3年

- 7月 本庁要望活動
ICT活用舗装工事講習会



令和4年

- 3月 石見空港視察
- 4月 舗装協会ホームページをリニューアル
- 7月 本庁要望活動
- 9月 国会議員要望活動
ボランティア活動(県道浅利渡津線清掃)
- 10月 ICT活用工事現場研修会



令和5年

- 7月 本庁要望
ボランティア活動(県道美保関八束松江線(八束町地内))



- 8月 中国地方整備局要望
- 9月 国土交通省要望
- 10月 創立60周年記念研修視察(東京、仙台、南三陸)
舗装技術講習会



令和6年

- 5月 創立60周年記念祝賀会

2019

令和元年

- 令和元年**
 - 「平成」から「令和」へ改元
 - 消費税が8%から10%に増税
- 令和2年**
 - 新型コロナウイルス感染症の世界的流行
 - 7月豪雨及び8月大雨による災害
 - 「島根の『つなぐ道プラン2020』」策定
- 令和3年**
 - 東京五輪・パラリンピックが1年延期で開催
 - 7月及び8月の大雨、台風による災害
- 令和4年**
 - 改正民法施行、成人年齢18歳に
 - 尾道松江線の雲南加茂スマート ICが開通

2023

令和5年

- 令和5年**
 - 新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類へ移行
- 令和6年**
 - 能登半島地震発生
 - 山陰自動車道「大田中央・三瓶山 IC～仁摩・石見銀山 IC間」が開通

●国内の出来事
●島根県内の出来事

Successive Officers

歴代役員

年度	役職名	氏名	会社名
昭和58 ～ 61年度	会長	今岡 嘉久三	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		今井 久祥	今井産業(株)
	理事	波多野 親	東和商事(株)
		中筋 英行	まるなか建設(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
		小村 恒一郎	山陰建設工業(株)
	監事	福代 昭	大二舗装(株)
		福田 寿夫	寿産業(株)
	昭和62 ～ 平成5年度	会長	今岡 嘉久三
副会長		大畑 實	中国道路(株)
		今井 久祥	今井産業(株)
		波多野 親 (～H5.10.8)	東和建設工業(株)
理事		中筋 英行	まるなか建設(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
		小村 恒一郎	山陰建設工業(株)
監事		福代 昭	(株)ダイニ (H3年まで大二舗装(株))
		福田 寿夫 (～H6.1.8)	寿産業(株)
平成6 年度		会長	今岡 嘉久三
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		今井 久祥 (～H6.10.12)	今井産業(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 英行	まるなか建設(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
		小村 恒一郎	山陰建設工業(株)
	監事	福代 昭	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)

年度	役職名	氏名	会社名
平成7 年度	会長	今岡 嘉久三	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 英行(～H7.12.25); 中筋 廣昭(H7.12.25～);	まるなか建設(株)
		今井 久人	今井産業(株)
		小村 恒一郎	山陰建設工業(株)
	監事	福代 昭	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)
	平成8 年度	会長	今岡 嘉久三
副会長		大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
理事		波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久人	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
監事		福代 昭 (～H8.7.4)	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)
平成9 年度		会長	今岡 嘉久三
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久人	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
	監事	江角 良徳	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)

年度	役職名	氏名	会社名
平成10 ～ 11年度	会長	今岡 嘉久三	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久人	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
	監事	江角 良徳	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)
		池田 明 (H10.11.1～)	員外
平成12 ～ 13年度	会長	今岡 嘉久三	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
	監事	江角 良徳 (～H13.5)	(株)ダイニ
		福田 弘道	寿産業(株)
		池田 明	員外
平成14 年度	会長	今岡 嘉久三	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
	監事	福田 弘道	寿産業(株)
		池田 明	員外

年度	役職名	氏名	会社名
平成15 ～ 17年6月	会長	今岡 嘉久三 (～H17.5.28)	日発工業(株)
	副会長	大畑 實	中国道路(株)
		常松 則義	雲南建設(株)
	理事	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
		今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
	監事	福代 秀洋	(株)ダイニ
		稲塚 公郎	松江土建(株)
		森山 文夫	員外
平成17年7月 ～ 18年度	会長	常松 則義	雲南建設(株)
	副会長	波多野 諭	東和建設工業(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
	理事	今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
		大畑 勉	中国道路(株)
		今岡 由喜夫 (～H19.3.29)	日発工業(株)
	監事	福代 秀洋	(株)ダイニ
		神庭 民生	松江土建(株)
		森山 文夫	員外
平成19 ～ 25年度	会長	常松 則義	雲南建設(株)
	副会長	波多野 諭	東幸建設(株) (H20年まで東和建設工業(株))
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
	理事	今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
		大畑 勉	中国道路(株)
		藤岡 隆義	日発工業(株)
	監事	福代 秀洋	(株)ダイニ
		神庭 民生	松江土建(株)
		森山 文夫	員外

歴代役員 Successive Officers

年度	役職名	氏名	会社名
平成26 ～ 29年度	会長	常松 則義	雲南建設(株)
	副会長	波多野 諭	東幸建設(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
	理事	今井 久師	今井産業(株)
		小村 洋司	山陰建設工業(株)
		大畑 勉	中国道路(株)
	監事	藤岡 隆義	日発工業(株)
		福代 秀洋	(株)ダイニ
		川上 裕治	松江土建(株)
		森山 文夫	員外
平成30 ～ 31年度	会長	常松 則義	雲南建設(株)
	副会長	波多野 諭	東幸建設(株)
		中筋 廣昭	まるなか建設(株)
	理事	今井 久師	今井産業(株)
		大畑 勉	中国道路(株)
		藤岡 隆義	日発工業(株)
	監事	福代 秀洋	(株)ダイニ
		川上 裕治	松江土建(株)
		中谷 保宣	昌和道路(株)
		森山 文夫	員外
令和2年度	相談役	常松 則義	雲南建設(株)
	会長	今井 久師	今井産業(株)
	副会長	大畑 勉	中国道路(株)
		福代 秀洋	(株)ダイニ
	理事	藤岡 隆義	日発工業(株)
		川上 裕治	松江土建(株)
		内藤 忠	まるなか建設(株)
	監事	中谷 保宣	昌和道路(株)
		波多野 陽一	東幸建設(株)
		高尾 健一	雲南建設(株)
	森山 文夫	員外	

年度	役職名	氏名	会社名
令和3 ～ 5年度	相談役	常松 則義	雲南建設(株)
	会長	今井 久師	今井産業(株)
	副会長	大畑 勉	中国道路(株)
		福代 秀洋	(株)ダイニ
	理事	藤岡 隆義 (～R5.12.14)	日発工業(株)
		川上 裕治	松江土建(株)
		内藤 忠	まるなか建設(株)
	監事	中谷 保宣	昌和道路(株)
		波多野 陽一	東幸建設(株)
		高尾 健一	雲南建設(株)
令和6年度	会長	今井 久師	今井産業(株)
	副会長	大畑 勉	中国道路(株)
		福代 秀洋	(株)ダイニ
	理事	今岡 余一良	日発工業(株)
		川上 裕治	松江土建(株)
		内藤 忠	まるなか建設(株)
	監事	中谷 保宣	昌和道路(株)
		波多野 陽一	東幸建設(株)
		高尾 健一	雲南建設(株)

Member Introduction

会員紹介

会員紹介 Member Introduction

日発工業株式会社	〒690-0065 島根県松江市灘町1番地43 TEL 0852-21-2001
まるなか建設株式会社	〒699-0203 島根県松江市玉湯町布志名767番地52 TEL 0852-60-2288
中国道路株式会社	〒698-0012 島根県益田市大谷町37番地2 TEL 0856-22-2321
今井産業株式会社	〒699-4298 島根県江津市桜江町川戸472番地1 TEL 0855-92-1321
雲南建設株式会社	〒699-1104 島根県雲南市加茂町南加茂550番地1 TEL 0854-49-6211
山陰建設工業株式会社	〒699-0822 島根県出雲市神西沖町2334番地3 TEL 0853-43-1113
東幸建設株式会社	〒694-0063 島根県大田市大田町吉永1266番地 TEL 0854-82-0175
株式会社ダイニ	〒693-0066 島根県出雲市高岡町1341番地 TEL 0853-23-5555
松江土建株式会社	〒690-8513 島根県松江市学園南2丁目3番5号 TEL 0852-21-3521
石成道路株式会社	〒697-0006 島根県浜田市下府町327番地73 TEL 0855-22-1077
昌和道路株式会社	〒699-5207 島根県鹿足郡津和野町枕瀬541番地2 TEL 0856-74-1233
平井建設株式会社	〒692-0011 島根県安来市安来町763番地3 TEL 0854-22-2218
大軌建設株式会社	〒690-0863 島根県松江市比津町34番地6 TEL 0852-21-0947
山口建設株式会社	〒691-0011 島根県出雲市国富町797番地 TEL 0853-63-3451
株式会社毛利組	〒697-0062 島根県浜田市熱田町1461番地 TEL 0855-27-0721
ヒカワ工業株式会社	〒699-0551 島根県出雲市斐川町沖洲922番地 TEL 0853-72-6119
協栄道路有限会社	〒699-3223 島根県浜田市三隅町西河内1982番地1 TEL 0855-32-2730


NIPPATSU 日笈工業株式会社


自社の特徴

弊社は、昭和39年4月創業、創立60周年を迎えました。創業当初は、舗装工事に特化した企業でありましたが、現在は舗装工事に他に土木工事、維持修繕工事も行っています。これからも、地域に根づく仕事の中で培った技術力を基に、良質な社会資本の構築、雇用の確保により、地域社会への貢献に取り組んでまいります。

Company Data

[所在地]

〒690-0065

島根県松江市灘町1番地43

[TEL]0852-21-2001

[代表者]今岡 余一良

[資本金]3,850万円

[従業員]51名



まるなか建設株式会社


自社の特徴

まるなか建設は昭和50年創業の総合建設業です。主に土木・建築・舗装工事を行い、島根県東部(本社・出雲支店)を中心に事業を展開しています。「社会のために存在し社会と共に繁栄する」を経営信条として、地域の公共施設等の建設・維持に携わっています。またICTの積極的な活用によって、若い人に魅力のある建設現場を目指しています。

Company Data

[所在地]

〒699-0203

島根県松江市玉湯町布志名767番地52

[TEL]0852-60-2288

[代表者]内藤 忠

[資本金]9,300万円

[従業員]101名



中国道路株式会社



自社の特徴

弊社は昭和41年設立以来、アスファルトプラントを建設し、舗装工事、土木工事を通じて、地域社会の発展と、安全安心な街づくりに寄与してまいりました。「ひとづくり」を基本と考え、技術力の向上、社員教育、福利厚生 of 充実を図りながら、全社員の継続的な成長を促し、挑戦・成長する企業を目指し地域社会に貢献してまいります。「昔通った懐かしい道も、今通る道も、そしてこれから進む道未来への道も、すべての道はつながっている。」

Company Data

[所在地]

〒698-0012

島根県益田市大谷町37番地2

[TEL]0856-22-2321

[代表者]大畑 勉

[資本金]2,000万円

[従業員]27名



今井産業株式会社



自社の特徴

総合建設会社として、土木・舗装・建築の三部門を軸とし、道路整備・トンネル・マンション・商業施設・個人住宅など、年間約700件の工事を手掛けています。

平成28年からICT施工に取組み、舗装部門では、3次元設計データを用いた出来形管理やICT建設機械を導入し、オペレーターの負担軽減、工期短縮・品質向上を図っています。

Company Data

[所在地]

〒699-4298

島根県江津市桜江町川戸472番地1

[TEL]0855-92-1321

[代表者]今井 久師

[資本金]2億円

[従業員]315名





雲南建設株式会社



自社の特徴

昭和42年の創業以来、雲南・奥出雲地域を中心に舗装工事を行う会社です。地域の皆様の快適な街づくりのため、また安心安全な道路づくりのために社長から若手、ベテランの社員までがひとつになって頑張っています。

会社に関わるすべての皆様から信頼され、すべての社員が希望を持って仕事ができる事を目標に日々チャレンジしています。

Company Data

[所在地]

〒699-1104

島根県雲南市加茂町南加茂550番地1

[TEL]0854-49-6211

[代表者]常松 祐子

[資本金]2,000万円

[従業員]26名




山陰建設工業



自社の特徴

主に道路や橋などのインフラ整備に係る土木建設業を行っています。インフラ整備は地域の方々の生活に密着した重要な仕事です。その積み重ねが評価されて、国土交通省中国地方整備局より「令和5年度工事成績優秀企業」の認定を頂きました。様々な工事や災害対応、ボランティア活動を通じて、地域の方々が安心して暮らせる街づくりを心がけています。

Company Data

[所在地]

〒699-0822

島根県出雲市神西沖町2334番地3

[TEL]0853-43-1113

[代表者]磯田 真左一

[資本金]2,600万円

[従業員]52名



東幸建設株式会社



自社の特徴

地域に密着した企業を理想とし、新たな道づくりや災害などの緊急対応、冬季における除雪作業など生活を支える道路を誰もが安心・安全に利用できるよう努めています。平成30年の島根県西部地震では発生直後から迅速な対応に努めました。新たな技術の積極的な導入や、規格外瓦の再利用による環境や景観への配慮にも取り組んでいます。

Company Data

[所在地]

〒694-0063

島根県大田市大田町吉永1266番地

[TEL]0854-82-0175

[代表者]波多野 陽一

[資本金]29,466千円

[従業員]33名



株式会社 ダイニ



自社の特徴

私たち株式会社ダイニは、創業以来50年以上にわたり、アスファルト舗装工事の施工・管理を中心に業務を続けてきました。その対象は、私道から高規格幹線道路までの各種道路、公共・民間施設や一般住宅の駐車場、そして外構など多様で広範囲に及びます。今後とも良い仕事をする事で、地域住民の皆様のお役に立っていきたくと考えています。

Company Data

[所在地]

〒693-0066

島根県出雲市高岡町1341番地

[TEL]0853-23-5555

[代表者]福代 秀洋

[資本金]2,100万円

[従業員]28名






自社の特徴

当社は、地域社会の発展に寄与する事業を通して、地域に暮らす人々に幸福感を提供することが「社員自身の幸福にも繋がる」との考えのもと、経営理念の「そこに暮らす人々の幸福を追求する」こと、また、社会(会社)は多種多様な仕事で成り立っていることを自覚し、お互いに「感謝」「敬意」「称賛」する気持ちを持つことを大切にしています。

Company Data

[所在地]

〒690-8513

島根県松江市学園南2丁目3番5号

[TEL]0852-21-3521

[代表者]平塚 智朗

[資本金]3億円

[従業員]186名





自社の特徴

当社は、昭和51年に創業し、令和6年に創業48年を迎えました。当社は道路工事、土木工事を通じて地域のインフラ整備に、高い技術力で携わって来ました。

職員各自のスキルアップを応援し、努力が報われる職場作り、取り組んでいます。

Company Data

[所在地]

〒697-0006

島根県浜田市下府町327番地73

[TEL]0855-22-1077

[代表者]三浦 英俊

[資本金]3,000万円

[従業員]17名



昌和道路株式会社



自社の特徴

創業47年目を迎える弊社は、山陰の小京都と言われる津和野町を初め石材舗装など、様々な舗装工事をおこなっています。民間の御客様からの引合いも多く、御見積りから施工まで機動力を生かして即座に対応出来、社員一丸となって誠心誠意御客様のために施工をおこなうのが特徴です。

Company Data

[所在地]

〒699-5207

島根県鹿足郡津和野町枕瀬541番地2

[TEL]0856-74-1233

[代表者]中谷 保宜

[資本金]2,000万円

[従業員]12名



HIRAI 平井建設株式会社



自社の特徴

弊社は昭和41年創業以来、「責任を持つ」・「技術を高める」・「和をもつ」を経営理念として、地域に密着した経営に取り組み、建設業としての実績を今日まで積み重ねてまいりました。今後も、顧客重視及び安全第一をモットーに、様々な事業活動を通して、豊かな郷土建設の発展に寄与し、環境問題への解決にも積極的に取り組んで参ります。

Company Data

[所在地]

〒692-0011

島根県安来市安来町763番地3

[TEL]0854-22-2218

[代表者]平井 徹

[資本金]5,000万円

[従業員]67名





大軌建設株式会社



自社の特徴

当社は、地域に密着した企業として、お客様のニーズにお応えします。社長や管理職と従業員との距離が近いため、自分自身の意見や考えが伝えやすい環境になっており、チームの和と結束力が強い会社となっております。島根で「舗装と言えば、大軌建設」と言われる事を目指し、確かな仕事を残していきます。

Company Data

[所在地]

〒690-0863

島根県松江市比津町34番地6

[TEL]0852-21-0947

[代表者]佐藤 正明

[資本金]3,000万円

[従業員]12名




山口建設株式会社

YAMAGUCHI CO LTD



自社の特徴

弊社は昭和54年、旧平田市(現出雲市東部地区)では唯一の舗装専門業者として誕生しました。

現在は舗装工事以外にも一般土木工事、廃棄物収集運搬業、住宅外構工事など、地域に密着した幅広いサービスを「良質」「廉価」「親切」をモットーに提供しています。

そして今後も、新技術の導入や、時代にマッチした職場環境の改善など、常に進化する企業であり続けるよう取り組んで参ります。

Company Data

[所在地]

〒691-0011

島根県出雲市国富町797番地

[TEL]0853-63-3451

[代表者]山口 弥

[資本金]2,000万円

[従業員]32名



 株式会社 毛利組



自社の特徴

弊社は昭和43年創業の一般土木・舗装工事を主とした建設業の会社です。弊社には経験豊かで技術力のある従業員が多く在籍しており、お客様の様々な要望にお応えしながら毛利組ならではの正確かつスピーディーな施工を行っています。皆様から信頼され、豊かな地域社会の発展に寄与する為にこれからも挑戦し続けていきます。

Company Data

[所在地]

〒697-0062

島根県浜田市熱田町1461番地

[TEL]0855-27-0721

[代表者] 隅田 勝幸

[資本金] 5,000万円

[従業員] 57名



 ヒカワ工業株式会社



自社の特徴

弊社は、昭和41年に創業し、土木・舗装・維持管理工事と幅広く手掛け、技術と信頼性を基に堅実な経営力により、地域社会に貢献する企業を目指しております。

今後は、急激に変化する建設業界の経営環境に対応し「暮らしに溶け込む、まちづくり」をモットーに社員一同、心を一つにして、まい進して参ります。

Company Data

[所在地]

〒699-0551

島根県出雲市斐川町沖洲922番地

[TEL]0853-72-6119

[代表者] 福田 美樹

[資本金] 4,000万円

[従業員] 49名



 協栄道路有限公司

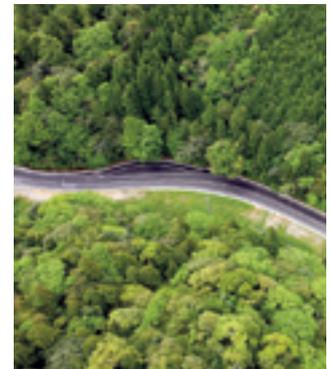


自社の特徴

昭和63年創立の「舗装工事」専門業者です。少人数の会社ではありますが、『良い仕事をして(良いモノを造って)地域社会に貢献する』をモットーに、社長以下従業員が団結し頑張っています。現場に社長もよく見学に来られ、いろいろと従業員に声かけをされますので、従業員との距離が短くアットホームな会社です。

Company Data

[所在地]
〒699-3223
島根県浜田市三隅町西河内1982番地1
[TEL]0855-32-2730
[代表者]森 詔司
[資本金]700万円
[従業員]9名



Map
会員マップ





女性が、
次世代の若者が、
笑顔で働ける
舗装業界へ！

Part 1
WOMEN'S
VISION

近年、舗装工事だけでなく土木建設業界全体で、女性の活躍が注目されています。その背景にはなにがあるのでしょうか？5社の女性社員に、舗装の現場や働き方の“今”、そして目指す“これから”について語り合ってもらいました。

左から(文中は(株)は記載省略)
今井産業(株) 幸治恵里さん
平井建設(株) 足立雪乃さん
雲南建設(株) 常松祐子さん
大軌建設(株) 松本次美さん
松江土建(株) 中島真奈美さん

Q 業界のムードをどのように感じていますか？

常松 業界全体の改革やPRが実ってきていますね。また、公共事業を発注する官庁も土木建設業の魅力を発信しているので、イメージが変わってきているかもしれません。働き方改革が進んだことも、女性の参入が活発になった背景にあるのではないのでしょうか？女性はもちろん、男性も働きやすくなっていると思いますよ。

幸治 そうですね、有給など休みが取りやすくなってきていると感じます。そういう環境が助かるのは男女関係ありませんし、お子さんがいる人も家庭を大事にしながら働けますよね。

足立 女性社員は内勤の事務職が中心で現場に出る機会は少ないのですが、全員が2級土木施工管理技士を取得できるようになっています。他の資格も、助成や講習の情報などを管理部から周知。女性の事務職であっても現場で役立つ技能がどんどん学べるようになってきているので、仕事の幅は広がっていると感じます。

中島 松江土建でも、施工管理を希望して入社する女性社員がこの数年で増えてきましたよ。入社後、ライフスタイルが変化したり、他の部門で頑張ってみたくなったりしたら、その人に合わせて柔軟に配置換えをしつつ対応しています。

常松 現場の仕事を希望する女性の応募、ありますね。雲南建設では、性別を問わず、希望があればどの部署にも配属していく体制をとっています。重機やダンプカーを運転している女性社員もいますよ。人手不足なので、なんでもやって

もらわなければいけないという背景もありますが…(笑)。

幸治 今井産業も現場に出ている女性社員がいます。私は20年近く勤務していますが、女性だからと仕事の内容を制限されることはなかったですね。細やかさや気遣いを求められた記憶もありません。現場の作業員もオペレーターも、「仕事をやってくれたらそれでいい」という感じで。

松本 私はちょっと構えて入ったので、「自分は女性だからこの仕事はできない」「男性と同等にできない、役に立たない」と思い込んで意気消沈していた時期がありました。女性だから丁寧な対応をしなければ、気遣いをしなければ、と思ったり……。実際はそんなことは求められていなかったんですけどね(笑)。性別を意識しなくなってから、任せてもらえることが増え、仕事がどんどん面白くなりました！今は資格を取ったりして前向きに取り組んでいます。

ここがPoint!

働き方改革でワークライフバランスが
取りやすい傾向に

性別に関係なく意欲があれば誰でも挑
戦できる環境へ、業界全体がシフト
チェンジ

Q 特に「ここが変わった」と感じることは？

幸治 制度や働き方などいろいろなことが変わってきているなど感じます。ビジュアル面でいうと、作業服が現代的な感じでおしゃれな会社が増えていませんか？細身にスタイリッシュなラインになったり、ストレッチ性や通気性など機能面もよくなって、女性用のサイズ展開も増えています。作業服のデザインを重視して就職先を選ぶ若者もいると聞きますよ。

常松 なるほど、今どきはそうなんですね！

雲南建設も令和5年の10月からユニフォームに変えたばかり。社員と面談する中で出てきた意見を採用しました。

中島 松江土建も若い人の意見を中心に、青と黒のバイカラーのデザインになりました。年配の社員からは「黒に蜂が寄ってくる」との声も耳にしましたが(笑)。

足立 女性を含む30歳以下の社員でチームを作って作業服を新しくしました。夏に上着を脱いでも平井建設のスタッフだとわかるように、ポロシャツも考案中です。全体的に作業着っぽくない、スポーツウェアのようなスタイリッシュな感じにしたいねと言っています。

松本 ユニフォームはあるんですが、メーカーによって着やすい、着づらいがあって、私は自分が着やすく、動きやすい作業服を選んで着たりしています。

現場見学会などに参加して他社のユニフォームを見ると、確かにユニフォームの変化をすごく感じます。

足立 服装といえば、今、測量機器を置いていた部屋を片付けて、女子更衣室を作っています。島根県の女性活躍の補助金(※)で柵などを購入し、使いやすい部屋にする予定。SDGsを推進するためにも、働きやすい環境整備をいろいろなところで進めています。

国交省の工事は必ず現場に女性用のトイレがありますし、最近では安来市などの自治体も公共工事で女性用のトイレが



設置されるようになりました。環境面での整備、かなり進んでいると思います。

常松 雲南建設もファイルを置いていた部屋を片付けて助成金で女子更衣室を作りました。同時に、男性がこれまで使っていた設備も新しくしていこうと検討中。性別に関係なく、みんなが快適な職場にしていくべきだと思っています。

幸治 20年ぐらいこの仕事をしてきて、更衣室がないことが当たり前のような感覚になっていました。私たちの世代は平気でも、若い人は必要かもしれませんね。勉強しながら対応していかないと！

松本 私も気にしたことがありませんでした。女性だからと特別扱われていないからかな？でも、こうして環境が整ってきているから業界のイメージが変わっているんですよ。ここ数年で劇的に空気が変わった感じがします。女性はもちろん若い人にどんどん入ってきてもらうために、いろいろと整備していかなければと思いました。

(※)女性活躍のための働きやすい環境整備支援事業費



ここがPoint!

デザイン面・機能面に優れた作業服は、イメージUPだけでなく働きやすさにもつながる

女性専用の更衣室やトイレなど、環境整備が進んでいる

Q これからの課題や気になることは？

中島 施工管理など現場に出ている女性から、「女性特有の悩み事が相談しにくい」という意見を聞きました。例えば、生理による不調など体のことや、結婚・妊娠・出産に関わることなど、いざという時どうしたらいいのかと……。

人間関係の風通しが悪いわけではなく、協力会社も含めて男性ばかりのチームに女性一人というパターンはいまだに多いんです。雰囲気的にも言い出しにくいですよ。上司に女性がいればまた違うと思いますが……。

常松 それは女性ならではの悩みですね。雲南建設は小さい会社なので、現場で言いにくい時は女性のいる事務方に相談する流れはできていますが、話しやすい雰囲気づくりは必要だと感じます。

幸治 私は今の職場で育休を経験しました。入社して10年以上経った頃だったので、周囲としっかりコミュニケーションが取れていて、立場的にも雰囲气的にもなんでも言いやすい環境で。自分でいつから育休に入るのか申し出たら、上司に「いや、赤ちゃんがお腹にいるならば早く現場に出るのはやめておきなよ！」と気を遣われました(笑)。

管理職など上の立場の人は、ある程度年齢が上の男性がほとんど。若い人に「妊娠しました」と報告されてもどうしていいかわからないかもしれません。いつごろが予定日なので、いつから育休に入って、いつから出てきます、と整理して話せると進めやすいかも！

中島 妊娠・出産を経て職場復帰している経験者が上司や同僚にいと、話しやすいし、休暇の段取りなども進めやすいかもしれませんね！

一方で、男性だらけの環境だと、なんでも話せる雰囲気であっても、「実際に相談してわかってもらえるのかな？」という

不安もあるようです。上司が対応するためのマニュアルのようなものがあるといいかもしれません。

常松 妊娠中ですが、産んで職場復帰した後も、家庭を大事にしながら働ける環境が大切だと思います。

松本 最近の若いパパは積極的に育児をする人も多いですし、環境整備は男性にとってもいいことだと思います。休みが取りやすく、奥さんや子どもと関わる時間が確保できると、仕事を続けやすいはず！

幸治 有給などが取りやすい環境になりつつありますが、施工管理はスケジュールを自分で調整しやすい仕事です。学校行事など休まなければいけない日を考慮して工程を考えたり、自分の代わりができる人を確保しておいたりできます。今井産業の中に社員に任せる空気があることも大きいかもしれませんが……。そういう意味では柔軟性があり、家庭と両立しやすいと感じます。

足立 平井建設では時間休が取れます。お子さんの看病や通院、行事などで使えるので、子育て中の人がよく利用していますよ。

中島 松江土建も、看護休暇の枠を広げ、参観日や運動会などの学校行事にも使えるよう内容を充実させ、名称も変更しました。また、プライベートの時間や家庭を大切にもらうために、レジャー費を月3,000円まで助成する制度もあるんですよ。

常松 それ、いいですね！子どもを連れて出かける結構お金がかかりますから、みなさん助かるでしょうね！

時短勤務や看護休暇などベーシックな制度はもちろん、柔軟な対応が必要。また、私たちのような子育てを卒業した世代が、子育て世代がのびのび働ける雰囲気を作るのも大事だなと感じています。

ここがPoint!

まだまだ女性の割合が少ない業界。体調面やライフステージの変化について相談しやすい雰囲気づくりや、適切な対応を学ぶ機会が必要に

結婚・出産・育児のロールモデルの存在が若い世代の励みに！

子育てしやすい環境は男性にもプラス





Q これからこの業界でどんなふうに働いていきたいですか？

足立 スキルアップを後押ししてもらえる会社なので、興味がある資格をどんどん取って仕事に生かせたらと思います。最近、ドローンの資格を取りました。今は建設業経理士の取得を目指しています。将来的には図面を読めるようになって、BIM/SIMなども学びたいです。知識があれば構造物に関して現場の技術者に確認する機会が減り、サポートできることが増え、後輩に教えることもできますからね。土木建設業は知らなかったことを学ぶ機会が多くて、好きなんです(笑)。

松本 とにかく「良いものづくり」をしたいです。使う材料や工法がポテンシャルを発揮し、長持ちするものを造れる技術者を目指している途中で。

自分が舗装に関わった道路を家族を連れて通ることがあるんです。休みの日にわざわざ車を出して、「ここ、お母さんが造ったんだよ!」と熱く語ったりして(笑)。子どもに自慢できる仕事をずっと続けていくことが一つの理想です。

幸治 「現場に行って体で覚えてこい」という時代を経てきましたが、機械化・ICT化が進んでいるので、新しい技術を学ぶ必要性を感じています。若い人に教わりながら進歩していきたいです。

環境面では、新しい世代に合わせた人材育成ができればと思います。価値観は世代によって違いますし、性格や適性など個人差もありますから、その人に合った対応が求められます。そう意味では子育ては似ているかもしれませんが、性別や年齢に関係なく、丁寧に話を聞いて向き合える上司になりたいです。

中島 長年役員秘書として、上層部の労働環境に関わってきました。これからは一般社員が働く環境にも関わってきたいです。仕事をしている時間は1日のうちでとても長いので、誰もが少しでも快適に働けたら良いですね。年齢とキャリアを重ねて、言いたいことを言える度胸もついてきたので(笑)。みんなのために仕事ができれば良いと思います。

常松 性別・年齢に関係なく意欲がある人が活躍できる土壌を、もっと開拓していきたいです。徐々に風通しが良くなってきましたが、今以上にコミュニケーションが活発になるといいと感じています。業務上のトラブルを防ぐためにも、女性はもちろん、みんなが自分の意見を言える空気が必要ですからね。向き不向きを考慮する必要はありますが、女性の管理職が育つ土壌も豊かにしていければと思います。





舗装の世界は
どう変わった？
今と未来を見つめる
世代間クロストーク

Part 2
CROSS
TALK

働き方や技術、さらには価値観までもが激変している舗装業界。仕事に対して感じている魅力ややりがい、日々感じている変化などを、10代から50代まで幅広い世代の人に話してもらいました。

左から(文中は(株)は記載省略)
まるなか建設(株) 高木幹男さん(50代)
中国道路(株) 大畑雄暉さん(30代)
(株)毛利組 黒川秀幸さん(50代)
東幸建設(株) 三嶋 進さん(40代)
(株)ダイニ 杉谷和哉さん(10代)

Q 業界歴30年以上のベテランから新社会人まで幅広い世代に集まっています。それぞれが感じる舗装業の魅力・やりがいについて教えてください

黒川 舗装をはじめとした土木建設業に35年ほど携わっていますが、やはり何もないところに新しい道を生み出せるのが面白いですね。特に舗装は、工事全体の終盤にある仕上げのような仕事。きれいに出来上がるよう細部に目を配る必要があり、それがやりがいでもあります。

大畑 半永久的に結果が残っていくのが舗装の仕事ですよね。除雪など災害時の対応をすることもあり、地域に貢献できている手応えを感じられます。

高木 自分が責任者として関わった場所が今も残っていて、多くの人に通ってもらっているのはやはり嬉しいです。30年勤め、振り返ると苦労も多かった。しかし困難な現場ほど経験値になったと感じます。

三嶋 入社してもうすぐ20年です。入ったばかりのころは毎日叱られながら鍛えられていました。なかなかやりがいを見出せなかった時、担当した道路を評価されたことがありました。他業種の先輩だったのですが、「お前の作った道路を車で走ってみたらサスペンションがほとんど動かなかった」と言ってもらえて…。道路のことなんか、普段誰も気にしないじゃないですか。そこにあるのが当たり前存在。でも、当たり前のインフラだからこそ造るにあたって少しでもこだわりたい。そこにやりがいを見出しています。

杉谷 子どものころからものづくりが好きで、建設・建築関係の仕事を目指していました。ある時、テレビ番組で舗装の仕事に密着する特集を見たんです。取材されていた職人さんが、「自分が舗装した道を家族や友達が利用するのを見ると、自分がそれを造ったからみんなが走れるののだと感じる」と言っていたのに感動。舗装の世界に進もうと決めました。就職してまだ半年ぐらいですが、何もなかったところに新しい道路ができる手応えを感じます。最初と最後を見比べると全然違いますね！

大畑 中国道路の若手社員にも、舗装するのが大好きで、仕事がとても楽しいと言ってくれる人がいます。元々土木建設関係を目指していたわけではないそうですが、やってみたらやりがいを見出せたようです。志が高い若者を大切にしたいですね。

ここがPoint!

形が残るものづくりはどの世代も大きなやりがい

“当たり前”を支え、地域に貢献することが喜びに



Q 中堅・ベテラン世代から見て、近年感じている業界の変化は？

高木 働きやすい環境になったと感じます。私が入社したのはバブルの名残があった時代。仕事が多かったこともありましたが、有給があっても取りにくかった。休むと評価が下がるなんてことも…。

今は働き方改革が進んで休みやすいし、行政関係の工事は週休2日制。むしろ有給をきちんと消化しなさいと厳しく言われる。昔と180度違います。

黒川 働きやすい環境は人材獲得のためには必須。しかし改革が進む一方でなかなか人が入らないのも現実ですね…。

三嶋 変わったことといえば、最近は何と比べて新しい情報がどんどん入ってくるようになったと感じます。「舗装」で検索すればTikTokやInstagram、YouTubeなどいくらでもヒットする。最新の技術や道具、作業を楽にするちょっとした工夫、いわゆるライフハック的なアイデア、作業中の“舗装あるある”…。他社がどんなことをやっているのかもちょっと前まではわからなかったのに、今はすぐに情報が得られます。

高木 情報収集は本当に便利になりましたよね！「特殊工法」などのキーワードで調べても興味深いものがたくさん上がってくるので助かります。しかも詳しい解説付き。今の若い人は学べるツールがあって恵まれていると思います。

杉谷 僕もネットで学ぶことが多いです。現場で教わっても十分に覚えきれなかったこと、分からなかったことを、家に帰ってからYouTubeなどで調べて理解を深めるようにしています。その場では全部覚え切れなかったりするんで…。

三嶋 一昔前までは狭い世界で仕事をしていましたが、今は県外の企業の情報などがすぐ手に入る。ネットがない時代はよその仕事を見にいくなんて考えられなかった。道具もどんどん進化していっているんで、ネットを使って追いかけています。特にここ近年加速度的に変化していませんか？

黒川 そうなんですよ。本当に早い！

三嶋 もうネットなしでは無理ですよ。

業界のことを広く知ってもらおうと日々の工事の様子などを発信している同業者のアカウントもあります。私たちににとってはそれが貴重な情報共有になる。舗装の基礎的な技術の紹介もたくさんあるので、自分が20代の時にこういうのがあれば!と思います。

黒川 若い人がそうやって情報収集をしてくれるのは頼もしいですよ。旗振り役になってくれると私たちも勉強になります。

毛利組は若い人がどんどん新しいものを取り入れ、会社全体としてもそれを応援する環境になっています。

大手企業とのお付き合いにおいてもニーズがどんどん変化しているので、取り残されないためにもアンテナを張ってもらいたいですね。



ここがPoint!

働き方改革が進み、休みやすく、長く続けやすい業界に

加速度的に進化する技術に、デジタルツールを駆使して対応する時代



Q 人材育成の面で感じている変化があれば教えてください

黒川 私が若かったころは現場でビシビシ怒られながらノウハウを叩き込まれていましたが、今は全然違う。時代は変化しましたね。

三嶋 そうですよ。私たちは「見て覚えろ!」「自分で調べろ!」と言われた世代。職人気質な世界なので、肝心のテクニックは意外と見せてもらえなかったりしました。先輩と関係を築いていく中で徐々に教えてもらったり…。

高木 自分が見込んだ後輩だけに極秘のテクニックを教える職人は今もいると聞きます。YouTubeなどでも勉強はできますが、人間関係を構築して技術継承していくことも大事ですよ。

杉谷 僕の先輩は「わからなかったら聞けばいい。わからないことを聞いて怒る人はたぶんいないはずだよ」と言っていました。同じ間違いを繰り返すのはよくないけど、失敗しても自分の中でちゃんと調べたり理解していくことが大事だと。勉強になるYouTubeやSNSのアカウントなども教えてくれました。

三嶋 いい先輩ですね!今は自分で調べる方法がいくらでもあるから、そういう指導の仕方ができますね。調べ方を教わったとして、やる気を出して学び続けるかどうかはその人次第ではありますが。

SNSや動画などのツールへ誘導することは、指導者が一方的な叱責を思いとどまるワンクッションにもなっていると思います。「なんでわからないんだよ!」などと怒鳴るのはよくない。

杉谷 僕は叱られてもほとんどへこまなくて、ちょっと変かもしれませんが、むしろ嬉しいタイプです。

放置されるより、ちゃんと言うべきことを言ってもらえると「なるほど」と思います。注意されると成長になるので。

大畑 怒られながら成長すること、大いにありますね。間違いも失敗も最初は必ずあることで、教えてもらいながら成長して

いけばいい。ミスはしないに越したことはないけど、挽回して糧にしてほしい。

怒られたら萎縮する人もいますが、臆して挑戦しなければ成長もないので、前向きに取り組んでほしいです。

黒川 叱られるうちが花だと思えますよ。周りの人になにも言われなくなったらおしまいです。

私も若者に注意しなければいけない場面がよくありますが、伝え方に配慮しながらコミュニケーションするようにしています。私自身は本当に厳しくごかれて育ちましたが、今は時代が違いますからね。

高木 最近は若い人の方がベテラン世代よりしっかりしている面もあります。若い人の方がイケイケで意見してくるし、自分で調べてどんどんやっていく。わからないことは聞いてくる。任せられるので頼もしいです。求めるのは、きちんと遅刻せず出勤するとか、締め切りを守るとか、責任の有無を問われる部分。自分たちもそこは厳しく教えられたところ。心掛けの部分をきちんと指導しつつ、我々も手本となるようしっかりしていかなければと思います。

ここがPoint!

旧来的な縦社会の関係からコミュニケーションの時代へ

社会人としての基礎・仕事のノウハウを伝える対面型の指導も大切

SNSやネット動画は人材育成の一助にも

Q これからのビジョンを教えてください

杉谷 舗装の仕事がやりたくてこの業界に進んだので、この先も続けたいです。

今はまだ入社したばかりで先輩の補助がメイン。早く成長して、工事の班長として現場の指揮を執れるぐらいになりたいです。もうすぐ中型の免許を取りに行けるんですよ。早くダンプを運転できるようになって、仕事の幅を広げたい！

高木 運転できる車や機械が増えると仕事が面白くなりますよ。私も入社1年はやはりスコップや箒などを持ち手伝いばかりの日々でした。休業期間のようなものですね。

2年目にアスファルトフィニッシャーに乗れるようになったらグッと視野が広がりました。機械に乗ると、少し高いところから現場が見渡せるようになる。視界が広がることで見えるものも変わる。現場での最適な動きが理解できるようになります。

大畑 機械に乗れるようになると、現場も作業内容も俯瞰できるようになりますよね。例えばスコップの人がどこで何をしているのか、自分がその作業に入る時にどのように動けばスムーズになるかわかってくる。少しずつ成長が実感できるようになりますよ。

黒川 これから若い世代にはイキイキ働いてほしい。希望を持ってもらうためには、舗装業を含めた土木建設業界が安定した職業であり続けなければならないと思います。

毛利組の場合は、30歳前後までに家庭を持って家を建て、安定した生活をしている従業員が多い。そういう業界であることはもっと伝えていきたいですね。

それから、若い人たちにはとにかく素直な気持ちでなんでも挑戦してもらいたい。毛利組は従業員の提案をサポートする体制ができていて、「だめ」は言わないようにしています。

毛利組は若手社員がYouTubeでの情報発信も行っており、



それを見て入社した社員もいます。

SNSなど今風の情報発信はどんどんやっていきたいですね。自社はもちろん、舗装業を含めた土木建設業全体に少しでも興味を持ってもらえればと思います、

杉谷 実際、就活で会社情報などをネットで収集する人は結構いますよ。

黒川 なるほど。同級生でこの業界に進んだ人は多いですか？

杉谷 地元の同級生で舗装は僕だけですが、足場関係や左官など、土木建設系は多かったです。やりたい人はいるはずなんですけど、専門学校などへの進学で県外に出て、そこで就職して帰ってこないパターンが多い気がします。

高木 人材確保は深刻な問題ですね。まるなか建設でもホームページやSNSでの情報発信、建設業ミライビルダーズなどの行政と一丸となった情報発信への参加など、建設業の魅力を発信して人材確保に向けた取組みをしています。

大畑 SNSなどネットを使った発信をしていかなければと、今日のこの会で勉強になりました。

三嶋 うちの会社も受け身ばかりなので、積極的にネットを駆使していきたいです。

それと同時に、人材獲得には賃金アップも不可欠だと思います。舗装は経済の流れの影響を受けやすい業界。私たちは40代から50代ですが、少し上の世代はもっと給料がよかった。私たちの世代で下がり、今また少しずつ上がっていていると感じています。業界も社会全体も賃金がアップし、誰もが安定した生活を送れるようになるといいですね。

ここがPoint!

デジタルツールを駆使した情報発信は人材獲得に不可欠

地に足のついた安定感のある業界であることを広く伝えていくべき

令和5年10月3日～10月5日

創立60周年記念 研修視察

創立60周年を迎えるにあたり東京、仙台、南三陸を巡りました。

東京では、「道路行政の課題と今後」、「建設業に関する現状と取組」について国交省職員から講演いただき、仙台では仙台河川国道事務所から復興道路の説明を受けた後、復興道路、南三陸の東北大震災伝承施設を視察しました。



参議院議員会館

研修(国交省職員の講演)



day 1 —
10.3



仙台河川国道事務所

復興道路(三陸沿岸道路)の説明

day 2 —
10.4



南三陸311メモリアル

東日本大震災伝承施設 視察



令和6年5月20日

創立60周年記念 祝賀会

ホテル一畑にて、丸山知事をはじめご来賓の方々のご列席のもと総勢57名が出席し、創立60周年記念祝賀会を開催しました。今井会長は式辞で「気持ちを新たに『島根の道は我々が守る』」と決意を述べました。

式辞



今井久師会長

祝辞



島根県知事 丸山 達也 様(来賓)

感謝状贈呈



常松則義前会長(代理:常松祐子
雲南建設(株)代表取締役社長)



大筒晃一前運営・技術委員長

乾杯



島根県建設産業団体連合会会長
中筋 豊通 様(来賓)

アトラクション(仁多乃炎太鼓)



祝賀会で
配られた

記念品



次第

1. 開会の辞
2. 式辞
3. 祝辞
4. 感謝状贈呈
5. 乾杯
6. アトラクション
7. 万歳三唱
8. 閉会の辞



(一社)島根県建設業協会会長
平塚 智朗 様(来賓)

万歳三唱





Awards
受賞実績



1. 叙勲、褒章

平成5年4月	今岡嘉久三	舗装協会会長	日発工業(株)	黄綬褒章
平成17年5月	今岡嘉久三	舗装協会会長	日発工業(株)	旭日双光章

2. 建設事業関係功労者等国土交通大臣表彰(平成13年～)

平成15年7月	今岡嘉久三	舗装協会会長	日発工業(株)
平成20年7月	常松 則義	舗装協会会長	雲南建設(株)
平成27年7月	波多野 諭	舗装協会副会長	東幸建設(株)
平成28年7月	中筋 廣昭	舗装協会副会長	まるなか建設(株)
平成30年7月	小村 洋司	舗装協会元理事	山陰建設工業(株)
令和4年7月	大畑 勉	舗装協会副会長	中国道路(株)

3. 島根県各種功労者表彰(昭和28年～)

昭和58年11月	今岡嘉久三	舗装協会会長	日発工業(株)
平成17年11月	常松 則義	舗装協会会長	雲南建設(株)
平成19年12月	中筋 英行	合材協会会長 舗装協会元理事	(株)ナカサン まるなか建設(株)
平成26年11月	波多野 諭	舗装協会副会長	東幸建設(株)
平成27年11月	中筋 廣昭	舗装協会副会長	まるなか建設(株)
平成29年11月	小村 洋司	舗装協会元理事	山陰建設工業(株)
令和3年11月	大畑 勉	舗装協会副会長	中国道路(株)

4. 島根県優良工事知事表彰(平成20年～)

年度	部門 (工種)	工事名 (簡略名)	受賞者名	事務所名
平成20年度	道路	国道432号亀高工区特定交通安全工事第2期	雲南建設(株)	雲南県土整備事務所
	道路	木次直江(停)線 神氷工区 改築(改良)工事	ヒカワ工業(株)	出雲県土整備事務所
	道路	(主)大田佐田線 山口工区地方道路交付金(交通安全)工事	東和建設工業(株)	県央県土整備事務所
	農業土木	平成18年度広域営農団地農道整備事業 大邑2期地区第1工区舗装工事(その6)	東和建設工業(株)	県央県土整備事務所
平成21年度	都市計画	松江停車場白濁線 国庫街路事業 舗装工事	日発工業(株)	松江県土整備事務所
平成22年度	道路	(一)出雲インター線 知井宮工区 改築(改良)工事 第4期	山陰建設工業(株)	出雲県土整備事務所
	道路	久城インター線(久城工区)改良(改築)舗装工事	中国道路(株)	益田県土整備事務所
	都市計画	今市古志線 地方道路交付金(街路)事業 舗装工事	まるなか建設(株)	出雲県土整備事務所
平成23年度	道路	(主)三瓶山公園線 池田工区 地域活力基盤創造交付金(交通安全)工事 第3期	東幸建設(株)	県央県土整備事務所
平成24年度	土木 (道路)	(一)出雲インター線 大島交差点工区 社会資本整備総合交付金(交通安全)工事 第2期	山陰建設工業(株)	出雲県土整備事務所
	土木 (道路)	国道485号(松江第五大橋道路)改築(改良)工事 松江JCT工区 舗装工	平井建設(株)	高規格道路事務所
	農林水産 (農業土木)	美郷地区 中間谷農道6号 舗装工事	今井産業(株)	県央県土整備事務所
平成25年度	土木 (道路)	(主)出雲三刀屋線 船津工区 社会資本整備総合交付金(改良)工事 第2期	(株)ダイニ	出雲県土整備事務所
	土木 (都市計画)	神門通り線 県単街路事業 舗装工事	まるなか建設(株)	出雲県土整備事務所
平成26年度	土木 (道路)	(主)仁摩邑南線大原工区 総合交付金(改良)工事(2月補経済対策) 第4期	東幸建設(株)	県央県土整備事務所
	土木 (港湾空港)	出雲空港ターニングパッド拡幅(土木)工事	日発工業(株)	出雲空港管理事務所
	農林水産 (漁港漁場)	平成24年度 和江漁港 水産流通基盤整備事業 第4期工事	東幸建設(株)	浜田水産事務所
平成27年度	土木 (道路)	国道432号 大庭バイパス 道路改築その8工事	松江土建(株)	松江県土整備事務所
平成28年度	土木 (道路)	熱田インター線 熱田工区 舗装工事	石成道路(株)	浜田県土整備事務所
	土木 (都市計画)	神門通り線 街路事業 舗装工事	まるなか建設(株)	出雲県土整備事務所

年度	部門 (工種)	工事名 (簡略名)	受賞者名	事務所名
平成29年度	土木 (道路)	桜江旭インター線 木田工区 舗装整備工事	今井産業(株)	浜田県土 整備事務所
	土木 (道路)	国道187号 法師淵工区 改築 舗装工事	昌和道路(株)	益田県土 整備事務所
	土木 (河川)	新内藤川 河川緊急整備工事 上流工区 堤防舗装工	(株)ダイニ	出雲県土 整備事務所
	土木 (港湾空港)	出雲空港 エプロン改良工事 第1期	まるなか建設・ ヒカワ工業特別共同企業体	出雲空港 管理事務所
平成30年度	土木 (道路)	田所国府線 大金工区 道路改築 舗装工事 第2期	今井産業(株)	浜田県土 整備事務所
	土木 (河川)	赤川 河川緊急整備工事 白枝新大橋舗装工	(株)ダイニ	出雲県土 整備事務所
	土木 (都市計画)	城山北公園線 2工区 街路事業 舗装工事	松江土建(株)	松江県土 整備事務所
令和元年度	土木 (道路)	大田井田江津線外2線 道路災害復旧工事 30災9号~13号	東幸建設(株)	県央県土 整備事務所
	土木 (道路)	浅利渡津線 渡津工区 道路改築 舗装工事	今井産業(株)	浜田県土 整備事務所
	土木 (都市計画)	新庄飯田線 3工区 街路事業 舗装工事	雲南建設(株)	雲南県土 整備事務所
令和3年度	土木 (道路)	安来木次線 石原工区 交通安全工事	平井建設(株)	松江県土 整備事務所
	土木 (道路)	矢尾今市線 大塚工区 改築工事 第27期	(株)ダイニ	出雲県土 整備事務所
	土木 (道路)	浜田八重可部線 後野工区 改築工事 交差点第2期	今井産業(株)	浜田県土 整備事務所
令和4年度	土木 (道路)	出雲三刀屋線外 給下工区 舗装整備工事	平井建設(株)	雲南県土 整備事務所
	土木 (道路)	久利五十猛停車場線 鬼村工区 改築工事 第5期	東幸建設(株)	県央県土 整備事務所
	土木 (道路)	青原停車場線 青原工区 改築工事 第5期	昌和道路(株)	益田県土 整備事務所
	農林水産 (農業土木)	農地整備事業 幡屋地区 舗装その1工事	雲南建設(株)	雲南県土 整備事務所
	農林水産 (農業土木)	農地整備事業 簸川西地区 舗装工事	山陰建設工業(株)	出雲県土 整備事務所
令和5年度	土木 (道路)	出雲平田線 西代工区 改築工事	日発工業(株)	出雲県土 整備事務所
	土木 (道路)	国道375号外 吉永工区外 舗装工事	東幸建設(株)	県央県土 整備事務所
	農林水産 (農業土木)	幡屋地区 舗装工事	雲南建設(株)	雲南県土 整備事務所

編集後記

1年半にわたります編集作業を終えるにあたりまして、まずはお世話になりました皆様に心から感謝を申し上げます。

当協会への思いのこもったご祝辞並びにご寄稿をいただきました皆様、大変お忙しい中対談をしていただきました島根県知事丸山達也様、舗装業界の現状やこれに対する意見を率直に話していただいた座談会参加者の皆様、そして資料提供や各種調整など様々な面でご協力いただきました島根県、島根県建設産業団体連合会、当協会会員各社の皆様、本当にありがとうございました。

ただ、ご寄稿をしていただいた藤岡隆義様が、昨年末急逝されましたことは、本当に残念なことでした。表紙の航空写真に関しても、「道路の形は島根(SHIMANE)のSが良い」とアイデアをいただき、本誌の完成を楽しみにしていच्छやいましたことを鮮明に覚えています。心からご冥福をお祈りいたします。

さて、島根県舗装協会周年記念誌の制作は30年ぶりとなりますが、今井会長からは「読んでもらえる記念誌」を作ってほしいとの話がありました。これを基本に、資料的な価値とともに協会内外に発信できるツールとしての価値も持たせようと考え、制作してまいりました。今年元日、能登半島地震が発生しました。この30年だけでも、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震などの震災や、風水害が数多く発生しており、まさに「災害列島」に私たちは暮らしています。災害の度にライフラインの大切さを改めて思い知らされます。道路についてはまさに命をつなぐ道であり、充実した道路網を構築し、これを良好な状態に保つことや、災害時のいち早い復旧が大変重要です。このために私たちの果たす役割は大変大きいものがあります。このことを広く一般の皆さんにご理解いただくことも、当協会にとって必要な事業の一つであると思います。本記念誌を、多くの人にご一読いただき、この一助となりますよう祈念し、編集後記といたします。



創立60周年記念誌編集委員

福代 秀洋(株式会社ダイニ)
波多野陽一(東幸建設株式会社)
高尾 健一(雲南建設株式会社)
伊藤 直文(事務局)

一般社団法人島根県舗装協会
創立60周年記念誌

発行日 令和6年7月発行

発行者 一般社団法人島根県舗装協会

〒699-0202

島根県松江市玉湯町湯町115

Tel:0852-62-1600 Fax:0852-62-0811

編集 創立60周年記念誌編集委員会

印刷 有限会社松陽印刷所

60th
Shimane
Pavement Association

一般社団法人 島根県舗装協会